

会 議 録	
会 議 名	令和4年度第1回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和4年5月20日（金）14：30～15：45
開催場所	丸亀市役所3階303・304会議室
出席者	<p><b>出席委員</b> 松永恭二（市長）、末澤康彦（教育長）、徳永秀文、松岡舟、福田康知（以上敬称略）</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 山地幸夫 （市長公室秘書政策課）課長 窪田徹也、政策マネジメント室長 高倉鋭悟、大川智</p> <p><b>市出席者</b> 教育部長 七座武史 （教育部総務課）課長 吉野隆志、副課長 土井節子 （教育部学校教育課）課長 岩井俊明、副課長 横山友亮 主任指導主事 川内佳代、主任指導主事 山本克己 市民生活部長 田中壽紀 （市民生活部生涯学習課）課長 谷本智子、副課長 窪田美由紀</p>
議 題	(1) 学校と地域の連携の方向性について (2) 主権者教育の現状と課題について
傍聴者	0人
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今から令和4年度第1回丸亀市総合教育会議を開会します。本日の協議事項は、「(1) 学校と地域の連携の方向性について」と「(2) 主権者教育の現状と課題について」の2件です。</p> <p>また、本日の会議は議事録作成支援システムを使用し、会議を記録しますので、恐れ入りますが、発言される際には、お手元のハンドマイクを使用し、発言するようお願いいたします。それでは会議の進行については、松永市長にお願いいたします。</p>
松永市長	5月11日に教育長に就任されました末澤教育長より一言ごあいさつをお願いします。
末澤教育長	<教育長あいさつ>
松永市長	議題（1）「令和4年度 丸亀市教育委員会等の取組について」事務局より説明をお願いします。
山本	<資料に基づいて説明>
福田委員	地域学校協働本部を運営する主体はどちらになりますか。

窪田副課長	コミュニティが主体であったり、PTAのOBが主体であったりと地域によって様々となっています。
松永市長	地域学校協働本部は何か所設置されていますか。
窪田副課長	現在、補助金を活用しているのは、中学校区に1か所、小学校区に7か所ありますが、事務所を構えているわけではなく、地域学校協働本部はあくまで組織の名称となります。
福田委員	地域学校協働本部は必ずしもコミュニティに属していないということでしょうか。
窪田副課長	はい。
田中部長	<p>地域学校協働本部の在り方については、担当が説明したとおり地域によって様々な形があり、コミュニティがある程度関わっているところと、そうでないところがあるのが実情です。</p> <p>しかしながら丸亀市としては、令和3年度に地域学校協働活動推進員を各小学校区に1名以上、教育委員会の委嘱により配置し、コミュニティと学校の協働活動を社会教育法上の活動と位置付け、整理をした経緯があります。</p> <p>このことから、地域学校協働本部の名称を名乗っていない地域においても、地域学校協働本部と同様の活動を行っているをご理解いただきたいと思います。</p>
末澤教育長	<p>城西小学校で勤務していた時に地域学校協働本部はありませんでしたが、令和3年度より地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）に来ていただきました。具体的な進め方としましては、コミュニティの会合に出席した際に学校が求めている支援内容を共有させていただき、コロナ禍ではありましたが地域の方に学校探検や野外活動などを補助いただいていた。地域コーディネーターの方には、学校からの要望をくみ取り、補助していただける方の募集や連絡調整などのコーディネートをしていただきました。これは城西小学校区の話になりますが、地域によって様々な形で地域と学校が連携した取組が進められていると思います。</p>
徳永委員	<p>地域学校協働本部は、社会教育の領域で平成24年度に飯山地区からはじまったと記憶しています。その時、地域の方が中学校に足を運び、学校をより良くするためにいろいろと活動していただいたことで学校が落ち着いていったと聞いています。そして、この活動が丸亀市全域に広がっていき、令和3年度に地域コーディネーターがすべての小学校区に配置されたと理解しています。</p> <p>一方で、文部科学省が提唱しているコミュニティ・スクールの趣旨である「保護者や地域のニーズを学校に反映させるため、地域住民が学校運営に参画できる仕組みを整えた学校」を見ますと、丸亀市の実情には合わないのではないかと懸念しています。</p>

松永市長	<p>学校現場としては、地域や保護者のニーズに応じた学校運営を行うとなると大きな負担になることから、学校のニーズに応じた活動を地域の方に補助いただく地域学校協働活動をベースとし、地域や保護者のニーズを可能な限り取り入れ、協力していくスタンスで進めていくのが丸亀市の実情に合っているのではないかと認識しています。</p> <p>徳永委員と同意見です。校長先生が策定した学校運営方針を地域や保護者の方に理解していただき、その方針の達成に向けて地域の方々が協力することをイメージしていますが、現状はどうでしょうか。</p>
山本	<p>市長のイメージのとおりとらえていただいて構いません。学校側が自分たちの実情や課題、目標をしっかりと伝え、地域や保護者と共有していく話し合いの場として学校運営協議会があると考えています。</p> <p>また、文部科学省が提唱するコミュニティ・スクールの趣旨についても間違いではありませんが、丸亀市の実情に鑑みますと学校のニーズを、まずは地域や保護者に伝えていくことが大事ではないかと考えています。</p>
末澤教育長	<p>コミュニティ・スクールの説明図を見ますと、学校運営協議会から学校に対し、意見・承認と示されており、これが文部科学省の趣旨である「保護者や地域のニーズを学校に反映させる」につながっていると認識しています。コミュニティ・スクールの取組が示された時にも、その趣旨がもう少しクローズアップされ、徳永委員が言われた保護者や地域の意見が学校運営に大きく影響するという懸念がありました。</p> <p>しかしながら現状は、学校が実情をお伝えしていく中で、地域から校長頑張れよと応援する姿勢でいてくれると私は感じています。</p>
松岡委員	<p>学校から地域へ支援をお願いし、それに応えていくやり取りは以前からあったと思います。しかし、コミュニティ・スクールで地域の方に学校運営方針を共有することで、これまで受け身で手伝っていたことが、能動的となり学校を支え応援して下さる関係になれば良いなと思っています。</p>
松永市長	<p>私がPTAの会長をしていた時の経験から申しますと、学校の大きな負担となっている地域との行事を廃止することは校長先生として中々言いにくいと思いますが、学校と地域が信頼関係を築いていくことで、それが気軽に相談できるようになれば良いと思います。</p>
福田委員	<p>在職中の話になりますが、地域学校協働活動と同じように地域の方に学校の学習に協力いただくなど、学校からの要望に応じていただいていたいました。今思えばコミュニティがしっかりしていたと感じています。</p> <p>これからは地域コーディネーターが学校と地域のコーディネートをしていくと思いますが、地域学校協働本部がコミュニティと密接な関係を築いていないと学校の様々</p>

	<p>な要望に応えられない、地域の参画する機会が失われていくのではないかと思います、最初に地域学校協働本部の運営主体はどこにあるかという質問をさせていただきました。</p>
松永市長	<p>次に議題（２）「主権者教育の現状と課題について」事務局より説明をお願いします。</p>
窪田課長	<p>議題（２）につきましては、令和４年３月定例会において、主権者教育の在り方についてのご質問をいただき、この総合教育会議の場で教育委員の皆さんと議論し、効果的な進め方を模索していくとの答弁を踏まえ、本日議題に挙げさせていただきました。これから担当課より主権者教育の現状と課題について説明をしますので、内容を確認していただきながら、市長の今後の関わり方などご意見をいただきたいと思います。</p>
川内	<p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
松永市長	<p>私が子どもの時は政治に係る授業は一切なかったと思っていますが、やはり物事を中立の立場で見なければならぬという観点からだったと認識しています。私としては、有権者となる１８歳になった時に一方的な偏った政治の情報に翻弄されるのではなく、多方面から情報を入手することができ、その中から自分で立候補者を判断できるような知識を子どもたちに与えたいと考えています。</p> <p>委員の皆さまには、政治的中立性を踏まえながら今の子どもたちに対してどう主権者教育を進めていけば良いかご意見いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
松岡委員	<p>政治はやはり今起きていることを語る方が面白いと思いますので、学校の授業で取り扱うことが難しい内容を、保護者が関心を持って家庭でお話するといった取組が考えられないかなと思いました。</p>
松永市長	<p>政治の現状について、多少なりとも解説してくれた方が子どもにとっても面白いと思いますが、授業で取り上げているのでしょうか。</p>
末澤教育長	<p>子どもの知的好奇心や主体的に学びに向かうという観点から、具体的な教材を使用するのは非常に効果的であると思いますが、教材の扱い方に気を付けないと政治的中立性に関する問題が生じる可能性があります。</p> <p>また、主権者教育の言葉だけを思い浮かべると、少し狭い意味のように感じられますが、先ほど市長が発言されたように学習指導要領に基づき自分の考えをしっかりと持ち、判断できる態度を身に付けさせることを主権者教育の基盤に置く必要があると思います。</p> <p>丸亀市教育大綱の基本理念の最初には、自立と共生を育むと明記されていますが、私は自分の考えをしっかりと持てるような自立と、周りの人と考えをしっかりとすり合</p>

<p>徳永委員</p>	<p>わせながら最適解を見つけ出しより良い社会をつくっていく共生を突き詰めていけば主権者教育に行き着くのではないかと考えています。</p> <p>また、教育大綱の基本目標1の子どもの教育においても、主体性と公共性を備えた豊かな人格を育てると明記されており、教育長に就任してから自立と共生、主体性と公共性を大事にしていきたいと言い続けています。丸亀市教育大綱で掲げるこれらを丸亀市として、ひいては主権者教育の基盤として大事にしていきたいと考えています。</p> <p>教育長が言われたように、教育分野において政治的中立性は必ず守らなければなりません。3月議会で質問があったと言われましたが、選挙権を得る18歳になった時に政治に関心を持っていて欲しいというニュアンスが感じられますので、まずは学校教育本来の趣旨をきっちりと感じ取って欲しいと思いました。</p> <p>現在、小中学校では総合的な学習の時間、高校では探究をキーワードに答えが一つではない課題に対して研究し自分の考えをしっかりと持てるような授業を行っています。私はこの総合的な学習と探究が教育長の言われた自分の考えをしっかりと持ち、判断できる態度を身に付ける主権者教育につながると考えていますので、これらの学習を推進するよう学校にお願いすることはできるのかなと考えています。</p> <p>また、子ども議会や議場見学、アイレックスでの産業教育など社会につながる活動を充実していくことも主権者教育の推進に必要なになってくとも感じています。</p>
<p>松永市長</p>	<p>3月議会で質問された議員の中には、若年層の投票率の低下を背景とする自分の1票の大切さを学んで欲しいという思いもあったと思います。</p>
<p>福田委員</p>	<p>文部科学省も言っていますが、単に政治の仕組みを教えるだけではなく、教育長が言われたようにこれからの社会を生き抜くために自分を取り巻く問題を自分のこととしてとらえ、それを自分で考え判断し行動するような資質や能力を育むことが、主権者教育に繋がっていくと私も認識しています。それは、学習指導要領の趣旨そのものが主権者教育に繋がっていくということになりますので、小中学校の段階で資質や能力の基礎を身に付けていくことを進める必要があるのではないかと考えています。</p>
<p>松岡委員</p>	<p>福田委員のご意見に加え、私たち親が政治に関わり、選挙に行ってきたという姿を子ども達に見せていくことも必要ではないかと感じました。</p>
<p>松永市長</p>	<p>主権者教育については、今後も議題として挙げさせていただき、意見交換をしていきたいと考えていますので、引き続きよろしく申し上げます。</p>
<p>松永市長</p>	<p>その他、委員の皆様や事務局より何かご意見等ございますか。</p> <p>&lt;特になし&gt;</p>

松永市長

ないようですので、本日の議題はこれで終了したいと思います。

(会議終了)